

7. 教育センター

教育センターは、本学医学・看護学の卒前ならびに卒後教育の支援組織として、教育を推進する。これらの活動を通して、東京慈恵会医科大学の発展に寄与し、国民のための医療者教育の向上に貢献することを目的とする。卒前教育、卒後教育、生涯学習の連続性の中で、大学、附属病院を横断する教育活動について、教育センターは支援する。教育センター長、部門組織は次の通り。

教育センター長 福島 統 教授

- (1) 医師キャリアサポート部門
 - ① 医学教育研究室
 - ② 教育開発室
- (2) 看護キャリアサポート部門
- (3) シミュレーション教育部門
- (4) 地域医療支援部門
- (5) 教育IR部門
- (6) アドミッション部門

1) 公開講座

(1) 大学主催公開講座

教育センターが公開講座推進委員会（委員長：福島統教授）を主管し、大学主催（大学および4附属病院が企画・実施）の公開講座を取り纏めた。平成27年度は全機関で32回開催した。本公開講座は一般市民および地域医療者を対象とし、大学の社会貢献と広報活動の充実に関する事業としている。公開講座の継続的な推進を図るため、各機関による主体的な運営形態としている。

平成27年度の開催内容は下記のとおり。

- ・附属病院：計12回（新みんなの健康教室（5回）、市民公開講座（7回）
- ・慈恵医大葛飾医療センター公開セミナー 4回
- ・慈恵医大第三病院公開健康セミナー 3回
- ・柏病院市民公開講座 3回
- ・新橋健診センター公開講座 3回
- ・大学：計7回（地域医療者向け公開講座4回（教育センター主管）、ひらめき☆ときめきサイエンス2回（教育センター主管）、市民公開シンポジウム1回

2) 教育に関する公的補助金にかかる事業

A. 平成24年度文部科学省「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」事業

内科学講座（糖尿病・代謝・内分泌内科）宇都宮一典教授が事業推進責任者となり、取組「参加型臨床実習のための系統的教育の構築」を推進した。主な活動は次の通り。

- (1) 新カリキュラムの実施
- (2) ログブック実施
- (3) 平成29年度診療参加型臨床実習実施の検討
- (4) 卒業時OSCEの検討
- (5) 外部評価

東京女子医科大学理事長・学長吉岡俊正先生を招聘し、平成28年3月31日（木）に本補助事業の平成27年度活動の外部評価を実施した。

(6) 第59回医学教育セミナー

東京女子医科大学理事長・学長吉岡俊正先生を講師として、平成28年3月31日（木）に「医学教育質保証制度への期待」をテーマに医学教育セミナーを実施した。学生・教職員43名が参加した。

B. 平成25年度文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成」事業

内科学講座（総合診療内科）大野岩男教授が事業推進責任者となり、取組「卒前から生涯学習に亘る総合診療能力開発—地域における臨床研究の推進を目指して—」を申請し、採択を受けた。

事業期間は平成25年度～29年度。本補助事業平成27年度の主な活動は次の通り。

(1) 教育プログラムの開発

次の8つの教育プログラムの開発を行った。

- ① 高齢者医療体験実習（医学科3年次）
- ② へき地医療プログラム（初期臨床研修 2年目研修医）
- ③ 総合診療コース（レジデント）
- ④ 大学院医学研究科博士課程授業細目「地域医療プライマリケア医学」
- ⑤ 授業細目「地域医療プライマリケア医学」・レジデントのコンバインドコース
- ⑥ EBMと臨床研究セミナー（大学院インテンシブコース）
- ⑦ 総合診療・家庭医療ブラッシュアッププログラム（医師インテンシブコース）
- ⑧ 復職支援スタートアッププログラム（医師インテンシブコース）

(2) 外部評価

- ・汐留みらいクリニック院長 橋本雄幸先生による外部評価を、平成28年2月4日（木）に受審した。

C. 平成24年度文部科学省「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業

東京医科歯科大学を代表校とし千葉大学、東京大学、新潟大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学の6大学が連携して、取組「国際基準に対応した医学教育認証制度の確立」を申請し、採択を受けた。本学の事業責任者は福島統教授が担当した。事業期間は平成24年度～28年度。本補助事業の平成27年度活動は次の通り。

(1) 海外視察

平成28年1月10日～1月16日、英国キングス大学に中村真理子准教授が視察した。最新の医学教育認証に関する情報収集を行った。

D. 平成27年度ICT設備整備事業

木村直史教授が事業推進責任者となり、「ExamBaseシステム構築」を申請し、採択を受けた。事業期間は平成27年度の単年度。本事業では医学科総合試験の試験計画、試験問題管理、試験成績管理のシステム整備を行った。

E. 経常費補助金「情報の公表」

教育補助金検討委員会（委員長：福島統教授）が主導し、教育情報の公表について、関係部署からデータ提供の協力を得て、平成27年9月に本学ホームページに掲載し、教育情報の公表を行った。これに伴い経常費補助金「情報の公表」の申請を行った。事業期間は平成27年度の単年度。

3) 看護学教育プログラム

看護学教育部門（看護キャリアサポートセンター）の奈良京子部門長を担当として、以下の教育プログラムを実施した。

(1) エデュケーションナース研修

- ・開催趣旨：新人看護師やプリセプターに対して意図的に適切な指導を行うために必要な知識・技術・態度を修得し、教育担当者としての役割を担う看護師の育成をねらいとした。
- ・開催期間：平成27年8月4日（火）～11月20日（金）の内20日間、受講者数：60名

(2) 看護監督者研修

- ・開催趣旨：中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を修得し、大学病院・看護部の理念の基、担当部署の看護管理過程が展開できる人材を育成することをねらいとした。
- ・開催期間：平成27年11月26日（木）～平成28年2月27日（土）の内11日間、受講者数：17名

- (3) 看護管理者研修
- ・開催趣旨：臨床および教育の看護管理者が一堂に集まり、各々の立場から本学の看護の現状と課題について情報交換を行い、【目指す慈恵の看護】を共有し、連携強化を目指した。
 - ・開催期間：平成28年1月30日（土）～1月31日（日）1泊2日、受講者数：18名
- 4) シミュレーション教育支援
- シミュレーション教育施設委員会（委員長：福島統教授）が中心となり、シミュレータ機器の選定、購入などの機器整備を行い各機関のシミュレーション教育施設の充実を図るとともに、シミュレーション教育施設の管理運営を行った。
- 各機関の利用状況は、西新橋校562件、国領校120件、葛飾医療センター103件、柏病院132件、合計917件の利用であった。
- 5) ICT活用教育支援
- (1) eラーニング
- 卒前・卒後教育教材の作成とeラーニングのサーバ等のシステムを管理し、利用支援を行うとともに、教材作成を支援した。eラーニングの実績は年間30コース359回であった。内訳は次の通り。
- ・医学科学生 11コース、65回（3年次症候学演習、4年次基本的臨床技能実習など）
 - ・看護学科学生 9コース、19回（2年次情報科学、3・4年次在宅看護学実習など）
 - ・大学院博士課程 1コース、9回（疫学臨床研究、生物統計学など）
 - ・卒後教育（研修医、看護師、地域医療者など）9コース、266回（鏡視下手術トレーニングなど）
- (2) コンピュータ試験の支援
- 医学教育研究室木村直史教授を責任者として、医学科5年生「総括試験」、医学科2年生「総合試験」、など医学科で10回、看護学科科目横断試験で1回、計11回のコンピュータ試験実施の支援を行った。
- (3) クリッカーを活用した授業等の支援
- クリッカーの運用・管理、利用者への支援を行った。学生、大学院の授業や医師、看護師の勉強会等で計28回利用され、利用者数は計3121名であった。
- 6) 地域医療者教育プログラム
- 地域医療を行っている医師を対象に「プライマリ・ケアのための臨床研究者育成プログラム」を松島雅人教授（臨床疫学研究部・教育センター）を責任者として実施した。
- 平成25年度生・受講生24名、平成26年度生・受講13名、平成27年度生・受講9名を受講生として、講義（eラーニング）を6コース、ワークショップを5回実施した。
- 7) 市民ボランティア「あけぼの会」の活動
- 平成24年度より、学生、医師、看護師等への本学らしい医療者教育の拡充を目的に、一般市民ボランティア「あけぼの会」を組織し活動を開始した。この組織は、現在、医学科・看護学科の授業（演習、実習）で実践している市民参加型コミュニケーション教育や、医療面接教育への支援を主としている。平成28年3月31日現在の会員数は25名で、平成27年度の活動は次の通りである。
- (1) 例会（SP勉強会含む）
- | | | |
|-------|----------------|-------------------|
| 第1回例会 | 平成27年4月18日（土） | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第2回例会 | 平成27年5月9日（土） | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第3回例会 | 平成27年6月20日（土） | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第4回例会 | 平成27年9月26日（土） | 9：00～12：00（SP、例会） |
| 第5回例会 | 平成27年12月12日（土） | 10：00～12：00（SP） |
| 第6回例会 | 平成28年2月20日（土） | 9：30～12：00（SP、例会） |
| 第7回例会 | 平成28年3月19日（土） | 10：00～12：00（SP） |
- (2) 授業への参加

医学総論Ⅳ演習（西新橋校）医学科 4年 4月3日（金）14：30～16：10
医学総論Ⅳ演習（西新橋校）医学科 4年 6月5日（金）13：40～17：00
医学総論Ⅲ演習（西新橋校）医学科 3年 7月9日（木）13：00～16：10
医学総論Ⅴ演習（西新橋校）医学科 5年 9月5日（土）13：40～16：10 ※見学
医療総論Ⅰ演習（国領校キャンパス）

医学科・看護学科1年 5月26日（火）13：00～14：30

医療総論Ⅰ演習（国領校キャンパス）

医学科・看護学科1年 6月9日（火）13：00～14：30

8) テレビ会議システムの利用支援

4機関合同の教育・研修活動の支援として、テレビ会議運営委員会を主管し、4機関を接続したテレビ会議システムの使用を支援し、年間15回のテレビ会議システムの利用支援を行った。利用内容は学長就任式、4病院合同セーフティーマネージメント、成医会などであった。

9) アウトリーチ活動

アウトリーチ活動推進委員会（委員長：南沢享教授）が主体となり、大学の社会貢献の一環として、教育研究成果の中高校への還元を目的に次の活動を行った。

(1) ひらめきときめきサイエンス

・「働き者の心臓を見て、触って、聴いて、知りつくそう」南沢享教授（細胞生理学講座）

平成27年7月31日（木）大学1号館7階実習室、中学生16名

・「iPS細胞が切り開く未来の医療～生きた細胞を観て、刺激して、考えてみよう!～」

岡野ジェイムス洋尚教授（再生医学研究部）

平成27年8月7日（金）大学1号館7階実習室、高校生12名

(2) オープンキャンパスにおけるアウトリーチ活動（3回）

教育・研究および学生のポスター展示、学生クラブ紹介ビデオの上映を行い、次の講義を行った。

A. 平成27年8月14日（金）15：30～17：10

模擬授業

(ア)「腸管免疫応答」

石渡賢治 准教授（熱帯医学講座）

(イ)「脳卒中のリハビリテーション ～We're making a scientific revolution for the patients!」

安保雅博 教授（リハビリテーション医学講座）

B. 平成27年8月15日（土）15：30～17：10

模擬授業

(ア)「てんかんに対する食事療法のメカニズムを電気生理学的手法で解明する」

川村将仁 講師（薬理学講座）

(イ)「脳卒中 みんなで学べば 怖くない」

井口保之 教授（神経内科）

C. 平成27年9月26日（土）15：30-17：10

模擬授業

(ア)「小児外科の基礎・臨床研究」

吉澤稷治 講師（外科学講座）

(イ)「感染症の拡がり方～病原体が運ばれるリスクを知る～」

嘉糠洋陸 教授（熱帯医学講座）

10) 教育質的転換プロジェクト

今年度より、医学科・看護学科及び大学院における教育の質的転換に向けたプロジェクトを学内公募し、プロジェクトを支援することとした。学長裁量経費から支給する。選定されたプロジェクトは次の通り。

プロジェクト：看護基礎教育における課題解決能力・地域医療連携能力強化型新カリキュラム開発プロジェクト

所 属：看護学科

企画責任者名：嶋澤 順子教授

メンバー：北 素子教授、茅島江子教授、田中幸子教授、香月毅史教授